

第81回 近畿消化器内視鏡技師学会のお知らせ

第81回近畿消化器内視鏡技師学会
学会長 岩本 奈緒
(国立病院機構南和歌山医療センター)

学会テーマ

「内視鏡治療における周術期管理 ～質の高い医療を提供するための情報共有の追求～」

周術期とは、手術が決定した外来から入院、麻酔・手術、術後回復、退院・社会復帰までの患者様の術中だけでなく手術前後を含めた一連の期間のことです。これまでは内視鏡室での術前・術中・術後の知識・技術や管理などに多く焦点を当てられており、関連部門（一般外来・救急外来・病棟など）における術前・術後、退院に至るまでの管理と連携については習慣的に行われているものの、あまり表面化されていないように感じます。内視鏡治療を受ける患者様に継続的かつ一貫性のある「安全・安心・安楽・満足」を提供するためには、内視鏡室と関連部門と多職種との連携がととても重要です。周術期の各時期における患者様との関わりから、今後患者様に起こりうるリスクをアセスメントし、それを継続してマネジメントする手段として、内視鏡室と関連部門間、多職種間での専門性を発揮した「質の高い情報共有（申し送り）」「わかりやすい記録」だと考えます。これらは内視鏡室だけでなく、関連部門においても連続性、一貫性が寄与され、結果的に内視鏡治療を受ける患者様への最善の医療提供につながります。配置換えで内視鏡室ではない部署（検査室・手術室・病棟・外来など）でご勤務されている内視鏡技師のみなさんも、専門性を発揮する機会はたくさんあります。

今回の要望演題は、上記に関連する内容を取り組まれているご施設からの演題を職種問わず大募集します。また、「明日からすぐにできる質の高い記録・情報共有（申し送り）」のワークショップも予定しています。要望演題だけでなく、日頃みなさんが取り組まれている内視鏡に関する一般演題についても幅広く募集します。有意義な学会となるように、たくさんのご参加をお待ちしております。

【開催日時】2023年8月6日(日) 12:30 開始予定

【会場】大阪国際会議場（大阪市北区中之島5丁目3番51号）

【演題募集】要望演題：「質の高い情報共有（申し送り）・わかりやすい記録」に関すること
一般演題：内視鏡業務に関すること

受付期間は4月上旬から5月下旬を予定。詳細はホームページでご案内いたします。

◆近畿消化器内視鏡技師会 入会のご案内

本会は、消化器内視鏡業務に従事する方、内視鏡業務を希望する方で、原則として勤務地が近畿県内に所在する施設などに所属する方の入会を受付けます。会員になると以下の特典があります。

- ◎本会主催のセミナー等に優先で申込みができます。
- ◎本会主催のセミナー等に会員価格で参加できます。
- ◎セミナーの開催情報をメール配信にてお知らせします。

2023年度の入会受付中です。是非この機会に入会をご検討ください。

【お問合せ先】（一社）近畿消化器内視鏡技師会 事務局

〒650-0034 神戸市中央区京町83番地 三宮セチリビル3階（株）プロケイブ内
TEL：078-332-3703（平日9:30～18:00）Email：kgets@pac.ne.jp